



「大野一雄」は  
 ダンスか？  
 これは  
 終わらない。

# 大野一雄展 日常の糧

103歳で逝った舞踏家の生活をたどる

2018年

9月28日(金)～12月8日(土)

開館時間：13:00～17:00(金曜日は19:00まで)

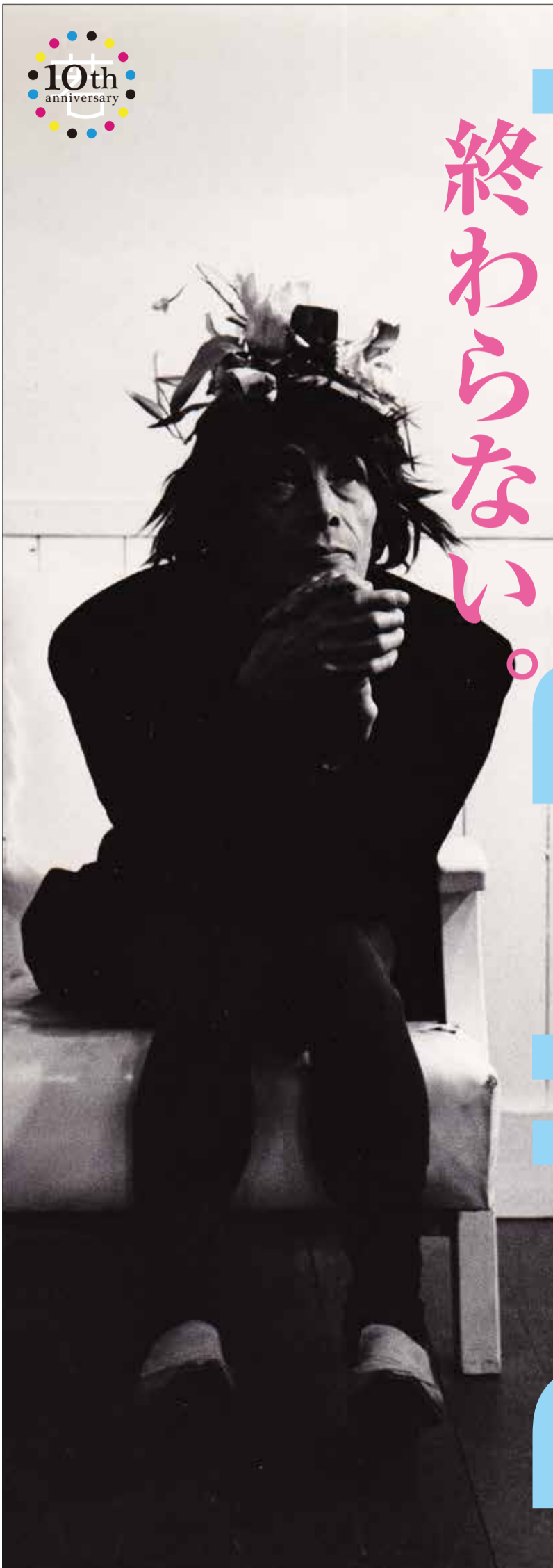
休館日：日・月・祝祭日

観覧料：500円/中学生以下無料

主催：若山美術館

共催：NPO法人ダンスアーカイヴ構想

協力：大野一雄舞踏研究所





1987年「ラ・アルヘンチーナ頌」開演前



1985年 自宅の台所で



1980年 ナンシーで「花になる」



2006年 クリスマス 上星川幼稚園で

展示期間中の関連イベントの情報は、  
美術館HPをご覧ください。

私たちが初めて大野一雄さんにお会いしたのは2010年6月1日のお亡くなりになった日でした。この日から、大野一雄さんとの付き合いが始まります。そしてこの時「大野一雄展」は決まりました。大野一雄は土方巽とともに『舞踏』の創始者です。しかし、今日私共を含め大野一雄をよく知らない方々が多いのも事実です。この展覧会は、大野一雄の舞踏を彼の日常の生活の中に見つめてみようと思います。この国に生まれ103年間を生きて『舞踏』を確立し、今も踊り続けているだろう「大野一雄」という人物を今こそ知らなければなりません。未公開資料を含む、スナップ写真、プライベートビデオ、近親者の証言映像によって、「大野一雄」の内奥に迫ることを試みます。若山美術館で大野一雄に会いましょう。

若山美術館

#### 大野一雄 略歴

- 1906 10月27日、北海道函館に生まれる。
- 1926 日本体育会体操学校(現・日本体育大学)入学。
- 1929 帝国劇場にてスペイン舞踊の舞姫、ラ・アルヘンチーナの来日公演を観る。体操学校を卒業、私立関東学院の体操教師となる。
- 1930 キリスト教の洗礼を受ける。
- 1933 中川チエと結婚。石井漢舞踊研究所に入所、一年間学ぶ。
- 1934 横浜の捜真女学校に就職。
- 1936 江口・宮舞踊研究所に入所。
- 1938 召集を受け、華北、ニューギニアで従軍。ソロンにて終戦を迎え、マノクワリで一年間捕虜となる。
- 45
- 1946 復員。江口・宮舞踊研究所に復帰。
- 1949 大野一雄現代舞踊第一回公演(東京、神田共立講堂)。
- 1959 650 EXPERIENCEの会に出演。
- 1960 土方巽 DANCE EXPERIENCEの会に出演。(東京、第一生命ホール)。
- 1961 自宅隣に稽古場を建てる。
- 1967 捜真女学校を定年退職し、嘱託として営繕職に就く。
- 1969 映画作家長野千秋と舞踏映画「O氏の肖像」制作。
- 1977 「ラ・アルヘンチーナ頌」初演。演出は土方巽(東京、第一生命ホール)。
- 1980 捜真女学校を退職。第14回ナンシー国際演劇祭(フランス)に招待され、初の海外公演を果たす。「ラ・アルヘンチーナ頌」「お膳」を巡演。
- 1981 「わたしのお母さん」初演。
- 1985 「死海 ウィンナーワルツと幽霊」初演。
- 1987 シュツットガルト世界演劇祭にて「睡蓮」初演。
- 1990 イタリアのクレモナにて「花鳥風月」初演。
- 1995 「天道 地道」初演(慶應義塾大学日吉キャンパス)。
- 1997 妻、大野チエ逝去。
- 1999 ニューヨークにて「20世紀への鎮魂」。最後の海外公演。
- 2001 ひとり立って歩くことが困難となる。東京国際舞台芸術祭で「花」公演(東京、新宿パークタワーホール)。
- 2002 イタリアのポローニャ大学で大野一雄アーカイヴが開設。
- 2007 神奈川県立青少年センターにて百歳を祝うガラ公演「百花繚乱」。
- 2010 6月1日16時38分永眠。

#### 主な展示内容

- ・大野一雄の蔵書、日常使った品々 ・未公開スナップ写真約100点
- ・捜真女学院での聖劇の記録映像、写真、演出資料
- ・上星川幼稚園でのサンタクロースの記録映像、写真
- ・1999年捜真教会墓前礼拝で踊るプライベートビデオ ・家族、関係者の証言ビデオ



開館時間：13:00～17:00(金曜日は19:00まで)  
休館日：日・月・祝祭日  
観覧料：500円/中学生以下無料  
〒104-0061  
東京都中央区銀座2-11-19 国光ビル4・5階  
TEL 03-3542-3279  
<https://www.wakayama-museum.com/>

